

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association



JAMCA ニュース

No.87

2015 年 10 月 1 日

発行 協会事務局 全国自動車大学校・整備専門学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大京町 31
ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066
編集事務局 〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3
☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988
ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

実践的職業教育を行う新たな高等教育機関の目的は何か

東京工科自動車大学校 学園長
全国自動車大学校・整備専門学校協会理事

山本 眞



今年専修学校創立 40 周年。そもその目的を顧みると、当時は大学受験戦争の真最中、受験に失敗した浪人が増え、彼らに「手に職を」という趣旨で制度ができた」と記憶する。そして 1993 年からは 18 歳人口の減少が始まった。大学は先を見て、1991 年に設置基準を緩和し、進学率は向上したが、それ以上に学校数が増えたため受験が容易になり、難関校を除いて、勉強をしないで入学できるようになった。今日大学が「補習」に追われている原因がここにある。専門学校は学生数を減らしながらも、1994 年 2 年課程卒業生に「専門士」の称号が付き、大学 3 年に編入資格ができ、2005 年 4 年課程の卒業生に「高度専門士」の称号が付き、大学院進学資格ができた。文科省は「高等教育の複線化」と謳った。

2006 年、教育基本法が改定され、「勤労を重んじる態度の養成」が教育目標に追加された。教育の目的は個人の自立であり、職業を全うすれば人格の形成になるという考え方による。背景には若年失業者が高齢者のそれより多くなったことが国の政策課題となっていた。また、マスコミは高等教育進学者も半数が就業しないと指摘した。将来国の生産力が低下し、自立できない生活保護者が増加すると警告した。

それから数年、進展はなかったが、教育学者による専門学校卒業

生の調査が行なわれ「専門学校教育は若者に高校で果たせなかった学習習慣を付けさせた」という評価が得られた。2013 年 1 月内閣の最重要政策として教育再生会議が開かれ、2014 年 7 月に「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関を制度化する方針」が示された。これを受けて 10 月専門学校関係者を含む有識者会議が発足し、異例のスピードで 2015 年 3 月審議のまとめを発表し、中教審の審議に入った。しかし議論は職業教育の「グローバル化」「高度化」「学位授与」等に傾き、新学校種は「大学の体系の中に位置づける」となっており、当初の目的「手に職を」「勤労を重んじる態度」「若者の自立」等が置き去りになったように思える。社会の発展に即した質の高い知的職業人育成は大事な課題だが、従来通り大学教育に任せればよい。

この急展開の中で、専門学校の先導的試行として 2014 年に始めた文科大臣認定の「職業実践専門課程」は、専門学校が営々と築き上げた「職業を通じた学習習慣の実績」が認められたと評価する。やっと社会が職業教育の重要性を論じ始めてきた時、専門学校自体に積極性が少ないのは先行きが見えないからだろう。産官学が連携して新たな職業教育を創立するためには、同分野（同業種？）の学校が一斉に行動しないと、業界も監督官庁も混乱を来すのではない

か。JAMCA 会員校は、新学校種の主たる目的は若い技術者をこの業界に確保することと確り見定め、同分野の学校としてみんな一斉に、まずは「職業実践専門課程」の認定を取得すべきではないだろうか。

年	月	実践的職業教育を行う 高等教育機関の制度化の経緯
1991		大学設置基準緩和。私大が急増
1992		18 歳人口がピーク
1994		修業 2 年・授業 1700 時間以上の専門課程に「専門士」付与
1998		専門士に大学編入資格付与
2003		文科・厚労・経産・内閣府の若者自立・挑戦会議発足
2005		修業 4 年・授業 3400 時間以上の課程に大学院入学資格付与。高等教育の複線化
2006		全専各連が専門学校の 1 条校化を要求。教育基本法に「勤労を重んじる態度」追加
2013	1	教育再生実行会議開催
2014	4	文科大臣認定の「職業実践専門課程」開始（先導的試行）
	7	教育再生会議が「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化方針」を示す
	10	「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化に関する有識者会議」発足
2015	4	有識者会議が審議のまとめを発表
	5	中教審に「実践的な職業教育を行う高等教育機関の制度化に関する特別部会」発足

CONTENTS

2 面	基礎学力向上、高校生の学力の現状等について
3 面	我が校自慢
4 面・5 面	新たな高等教育機関の制度化に関する有識者会議協会トピックス
6 面	活躍!! 卒業生・地区通信
7 面	私の教材活用・お知らせ・
8 面	編集後記